

問 上水道の更なる普及、中でも幹線の配水管が遠く、個人では負担しきれない世帯で、しかも飲料水に適しない地下水利用の世帯がある。安心安全住みたくなる町とのイメージと隔たりを感じるがその対策は。

町長 配水管網の拡張整備に伴い、新規給水世帯も増加したことで現在の給水人口普及率は97.25%となったが、地理的な条件等により工事に相当額の自己負担を要する場合もあるので、今年度から工事費の75%から40%助成の措置を講じて加入の促進を図っている。(Bランク評価)

設立や機械利用組合など営農組織の育成・指導等を行ってきたが十分ではなかった。(Cランク評価)

問 無秩序な市街地化による土地利用の混乱や混住化が招いた集落機能の低下対策は。

町長 「活力ある農村社会の建設」については、イオンショッピングセンターの立地に伴い農業振興地域整備計画の一部見直しを行い、平成20年3月に準都市計画区域が指定された。(Bランク評価)

問 企業(工場)誘致、既存の地場産業の振興、新たな産業の創出を目指すところがあるが。

町長 異業種交流と協同化やものづくりを志す人材の育成など9つの主要施策で構成されているが、商工会等関係団体との役割分担、取り組み方針の調整ができない

かったため、6つの施策が未実施となった。(Eランク評価)

問 新しい商店街づくりのビジョンを検討する、或いは大木町中心市街地活性化のプランを検討するところがあるが。

町長 平成16年度に商工会で大木町商店街活性化ビジョンが策定され、その中で提案された高齢者の健康確認を含めた宅配事業や土曜市の開催など、検討はされたものの実施に至らなかった。(Eランク評価)

問 高齢者及び買物客を考慮した商業地のあり方・福祉バスの有効活用等の検討、高齢化時代の小売・サービス業のあり方について、常に消費者を意識した対策の検討については。

町長 未実施(Eランク評価)

このような施策ごとの達成状況や残された課題等を十分に踏まえて、今計画期間内に可能な限り仕上げていくとともに、第5次総合計画に引き継ぐべき施策等の検討を進めていく。

第5次総合計画へどのような反映するかについては、現在、将来像や基本方針を柱とした基本構想(案)を、審議会においてご審議いただいているところである。

精査等の作業を経て、9月ごろを目途に審議会へ基本計画(案)として提案、審議いただくことになる。

第4次総合計画における施策ごとの達成状況や残された課題等を十分に精査して、第5次総合計画に引き継ぐべき施策等については当然反映すべきであると考えている。

産業の振興

問 農業者の担い手の育成は進んだのか。

町長 経営相談や研修等を行う認定農業者協議会の

異業種交流と協同化やものづくりを志す人材の育成など9つの主要施策で構成されているが、商工会等関係団体との役割分担、取り組み方針の調整ができない

高齢者及び買物客を考慮した商業地のあり方・福祉バスの有効活用等の検討、高齢化時代の小売・サービス業のあり方について、常に消費者を意識した対策の検討については。

未実施(Eランク評価)



くるんから見た道の駅と新442号線